

学習指導案「さまざまな輸送手段」

1 テーマ

いろいろな輸送手段を知ろう。

2 本学習指導案の活用場面

5年小単元「工業生産を支える運輸と貿易」の学習では、船やトラック、航空機、貨物鉄道などさまざまな輸送手段について扱われます。ここでは、陸上、海上、航空などの輸送手段の役割や特徴について学習する際の指導例を示しています。

3 教材活用のポイント

ここでの指導では、「いろいろな輸送を知ろう」を使用します。「船(海上輸送)」「トラック輸送」「飛行機(航空輸送)」「鉄道輸送」の4つの輸送手段から構成されています。輸送手段に携わっている人の話は、いずれもそれぞれの輸送とは何か。その特徴は何か。何を輸送しているのか。みんなに伝えたいことなど、共通した項目で解説されていますので、比較・検討することができます。ワークシートに記述させるとよいでしょう。

ここでは、4つの内容を学級で一斉に順序よく調べていくこともできますが、子ども一人一人が自分の関心に応じて選択しながら個別に学んでいく方法もあります。下記の学習展開は一斉に学習していく際の指導例を示しています。

4 目標

ものの輸送手段には、船、トラック、飛行機(航空機)、貨物列車の4つがあることや、それぞれの輸送手段の役割や特徴について理解することができる。

5 学習展開(1時間扱い)

主な発問・指示 / 押さえない事項	資料(*)と配慮事項
<p>1 ものを運ぶにはどのような手段があるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・船→海上輸送・トラック→トラック輸送(陸上輸送)・飛行機→航空輸送・貨物列車→貨物鉄道輸送 <p>2 学習のめあて(今日の課題)を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">海上輸送、トラック輸送、航空輸送、貨物鉄道輸送の役割と特色は何だろうか。</div>	<p>*「いろいろな輸送を知ろう」</p> <p>◎この場で各輸送手段に対して「○○輸送」という言い方を指導しておく。これを受けて、本時の学習のめあてを設定する。</p>

3 動画をみて、4つの輸送手段について調べましょう。

(1) 動画を視聴する際の視点

- ・どんなところで活躍しているか。
- ・どんな特色があるか。
- ・主にどんなものを運んでいるか。
- ・荷物はどこで積み下ろしているか。
- ・みんなに伝えたいことは何か。など

(2) わかったことをワークシートに書き入れる。

(3) 書いたことを発表し、間違いはないかを確認する。

4 4つの輸送手段について、それぞれの特徴を考え、話し合いましょう。

- ・船による海上輸送は、一度にたくさんの品物を運ぶことができる。
- ・トラック輸送は、工場や会社、家の近くまで運ぶことができる。小回りができる。
- ・航空輸送は、短い時間で運ぶことができる。
- ・貨物鉄道輸送は、早く、大量に運ぶことができる。環境にも優しい。

5 ものを届ける輸送手段について、わかったことや考えたことをまとめなさい。

(まとめの文例)

ものを運ぶには、海上輸送、トラック輸送、航空輸送、貨物鉄道輸送の4つがあることがわかった。4つの輸送手段には、それぞれによいところがあり、それを生かしてさまざまなものが運ばれている。

* 4つの輸送手段についての話（動画）

- ◎ 4つの動画は、3～4分程度で構成されている。繰り返し視聴させてもよい。
- ◎ いずれも左記の視点で構成されており、視聴したあとに視点ごとに輸送手段によるちがいを確認させるとよい。

- ◎ ここでは、調べたことを踏まえて、4つの輸送手段にはそれぞれどのような特色があるかを考えさせる。

- ◎ 輸送手段を利用するには、港湾や空港、道路や線路などの施設が必要になることに触れてもよい。

- ◎ まとめる場面では、それぞれの輸送手段の利点や特徴に着目して、役割をまとめるようにする。